

I さっぽろ圏SWOT分析の考え方

内部環境の圏域の強み弱みについては、現ビジョンにおける分析に加え、令和4年度に実施した地域の未来予測の結果、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンにおけるSWOT分析等を参考に検討した。

外部環境の機会・脅威については国の動向と第2次戦略ビジョン等を参考に検討した。

内部環境	1 圏域の強み (S:Strengths)	
	人的資源 (市民)	①圏域の女性比率が高い (豊富な人材)
	物的資源 (天然資源、都市基盤)	②充実した都市機能 (学校・医療機関等が多い) ③豊富な観光資源 (観光地の集積 (Fビレッジ等)、雪を活用した観光) ④陸・海・空の交通の要衝 ⑤食の魅力 (ブランド力が強い、農業生産量が多い) ⑥圏域におけるDX化の先進的な取組 (リモート相談窓口等)
	情動的資源 (外部からの評価)	⑦住みやすさ
	2 圏域の弱み (W:Weaknesses)	
	人的資源 (市民)	①20~29歳人口における道外流出増 (給与が低く、理系の就職が少ないため高度人材の呼び込みができない。生産年齢人口の減少) ②圏域における介護需要の増
財務的資源 (自治体の財政力・市民の経済力)	③圏域外から稼ぐ力が弱い (3次産業が主。製造業が少ない)	
物的資源 (天然資源、都市基盤)	④公共施設の更新時期の到来 ⑤路線バスの利用低迷 ⑥移動手段を持たない高齢者の増加 ⑦生活圏への鳥獣の出現 (住宅街へのヒグマ出没)	
外部環境	3 機会 (O:Opportunities)	
	政治・法律 (国の動向)	①新型コロナの5類移行 ②女性活躍の推進 ③子ども・子育て支援の促進 ④観光立国の推進
	社会・経済 (社会経済情勢)	⑤製造業の生産拠点の国内回帰 ⑥次世代半導体メーカーの千歳市進出 ⑦ワーク・ライフスタイルの変化 (モノ消費からコト消費へのシフト、リモート勤務・ワーケーションの促進) ⑧道産食品の輸出拡大 ⑨海外旅行客の増加 ⑩札幌都心部のリニューアル ⑪人生100年時代の到来~健康寿命の延伸 ⑫豊かな自然環境 (豊富な水資源、広大な土地)
	エコロジー (環境行動)	⑬脱炭素の促進
	技術 (技術革新)	⑭DXの推進
	4 脅威 (T:Threats)	
	社会・経済 (社会経済情勢)	①生産年齢人口減による全般的な働き手不足、税金収入減 ②高齢者増による介護人材の不足、医療費の増 ③いびつな人口バランスによる社会保障費の増加 ④人口減少が進み、経済・都市機能との規模が合わなくなる ⑤ヒグマ生息状況の変化 (個体数増)
	エコロジー (環境行動)	⑥自然災害の多様化 (頻発する豪雨災害等) ⑦地球温暖化

II SWOT分析から導く重点施策(案)

IのSWOT分析による圏域の強みや外部環境による機会を活かし、圏域の弱みを克服するために、3つの視点「産業」「インフラ・行政サービス」「暮らし・ひと」において取組の基本的方向性(重点施策案)を検討した。

視点：産業

内部環境	1 圏域の強み (S) ①圏域の女性比率が高い ③豊富な観光資源 ④陸・海・空の交通の要衝 ⑤食の魅力	2 圏域の弱み (W) ①20~29歳人口における道外流出増 ③圏域外から稼ぐ力が弱い
	3 機会 (O) ①新型コロナの5類移行 ②女性活躍の推進 ④観光立国の推進 ⑤製造業の生産拠点の国内回帰 ⑥次世代半導体メーカーの千歳市進出 ⑦ワーク・ライフスタイルの変化 ⑧道産食品の輸出拡大 ⑨海外旅行客の増加 ⑫豊かな自然環境 ⑭DXの推進	4 脅威 (T)

SWOT	必要となる取組
S ④陸・海・空の交通の要衝、⑤食の魅力 O ⑤製造業等の生産拠点の国内回帰、⑫豊かな自然環境	・地域資源を活かした企業誘致
W ①20~29歳人口における道外流出増、③圏域外から稼ぐ力が弱い O ⑥次世代半導体メーカーの千歳市進出	・新たな企業進出に伴う受入態勢の構築
S ③豊富な観光資源、④陸・海・空の交通の要衝 O ①新型コロナの5類移行、④観光立国の推進、⑨海外旅行客の増加	・周遊型観光を中心とした観光振興

新型コロナウイルス感染症の拡大や地政学的リスクの高まり、さらには円安等の影響により、製造業の生産拠点の国内回帰の動きが見られる。圏域としては、こうした機会を逃さず、各市町村が有する水や土地などの豊富な資源、そして、新千歳空港や石狩湾新港・小樽港、更には北海道新幹線の札幌延伸等、陸・海・空の交通の要衝を有するといった強みを活かし、企業誘致を推進していくことが有効である。なお、取組を進めるにあたり、例えば、圏域一体となった誘致活動の実施により、企業にとっては、幅広い選択肢から立地先を検討することが可能となる。

また、次世代半導体メーカー(ラピダス社)が千歳市に進出するにあたり、多くの企業・従業員の事業活動及び生活が円滑に進むための環境整備が必要となる。こうした受入態勢の構築については、圏域全体で取り組んでいく必要がある。

圏域は観光地を数多く有し、圏域の観光入込客数は平成30年までは年々増加していたが、新型コロナの影響を受け、激減した。その後、新型コロナが5類に移行し、また、国による観光立国の推進や海外旅行客の増加等、観光需要の高まりが予想されることから、圏域の豊富な観光資源を活かし、特に複数の連携市町村を移動する周遊型観光等、積極的に観光振興を図っていくことが有効である。

⇒ **重点施策案1 圏域の強みを活かし、新たな人や投資を呼び込む**

SWOT	必要となる取組
W ①20～29 歳人口における道外流出増、③圏域外から稼ぐ力が弱い O ⑭DXの推進	・企業のDX化の推進 (人手不足解消、生産性向上)
S ④陸・海・空の交通の要衝(石狩湾新港、小樽港)、⑤食の魅力 O ⑧道産食品の輸出拡大	・食料品の販路拡大
S ⑤食の魅力 O ⑦ワーク・ライフスタイルの変化(モノ消費からコト消費へのシフト)	・都市観光と自然体験の融合
S ①圏域の女性比率が高い O ②女性活躍の推進	・女性が働きやすい環境への支援

圏域は、外から稼ぐ力が弱く、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小や人手不足も課題となっている。そこで、デジタル技術の活用により、圏域内企業の生産性を向上させる等、圏域経済を維持・拡大させる取組が必要である。

また、圏域には農業を基幹産業とする自治体も多く、食に対するブランド力の強さや農業生産量が多いといった圏域の強みを活かし、圏域外への販路拡大を図っていくことや農業を活用した観光振興が圏域の経済活性化に有効である。なお、販路拡大については、例えば、圏域内農産物のブランド力を向上させることで、販売単価を高めるといった差別化ができる。一方、農業を活用した観光振興については、圏域が有する豊かな自然環境を活かしたグリーンツーリズムの推進といった事業構築の可能性がある。

さらに、圏域は人口の女性比率が高いことから、国が進める女性活躍の推進の動きを踏まえた施策を展開していくことが有効である。

⇒ **重点施策案2 圏域の経済を支える産業を支援する**

視点：インフラ・行政サービス

内部環境	1 圏域の強み(S) ②充実した都市機能 ⑥圏域におけるDX化の先進的な取組	2 圏域の弱み(W) ①20～29 歳人口における道外流出増 ④公共施設の更新時期の到来
外部環境	3 機会(O) ⑩札幌都心部のリニューアル ⑭DXの推進	4 脅威(T) ① 生産年齢人口減による全般的な働き手不足、税金収入減 ④人口減少が進み、経済・都市機能との規模が合わなくなる ⑥自然災害の多様化

SWOT	必要となる取組
S ② 充実した都市機能 O ⑩札幌都心部のリニューアル、⑭DXの推進	・都市機能の集積

圏域には大学等の学術機関、医療機関、文化施設や公共施設が多くあり多様な都市機能の集積が見られ、それらの活用を促すことが圏域住民の利便性や生活の質の向上につながっている。

また、札幌の都心部では民間投資が活発化して新たな商業施設等の建設が進み、新幹線の開業も控えている等、高次の都市機能の集積が進んでおり、さらなる人や投資の呼び込みを喚起している。

こうした都市機能の集積を活かした取組を推進することが、圏域の住みやすさを支え、また賑わいを創出するために有効である。

今後は、学術機関との連携や、安定的な医療サービスの提供など、高次都市機能の集積による効果を圏域全体に波及させていくような施策を展開していくことが考えられる。

⇒ **重点施策案3 高次の都市機能の集積を活用した取組を推進する**

SWOT	必要となる取組
W ④公共施設の更新時期の到来 T ①生産年齢人口減による全般的な働き手不足、税金収入減 ④人口減少が進み、経済・都市機能との規模が合わなくなる	・圏域における公共施設共同利用の推進
S ⑥圏域におけるDX化の先進的な取組(リモート相談窓口等) O ⑭DXの推進	・圏域行政のDX化
S ②充実した都市機能 T ⑥自然災害の多様化	・圏域内での災害対応強化

圏域においては人口減少・少子高齢化が進展し、自治体の労働力や税収の減少が見込まれるため、公共施設の維持や公共サービスを自治体ごとにフルセットで行うことは困難となる。

2040年までに公共施設の多くが更新時期を迎えることや、自治体職員の人手不足、近年頻発する自然災害への対応といった行政課題を解決し、住民に安定的なサービスを提供するためには、デジタル技術の活用による行政のスマート化や公共施設の共同利用、災害対応等の強化を進める必要がある。

住民が通勤・通学で圏域内を行き来していることから、今後の取組としては、DX化を推進し圏域住民が日中に利用しやすいサービス提供を拡大していくことが考えられる。

⇒ **重点施策案4 持続可能な行政サービスを提供する**

視点：暮らし・ひと

内部環境	1 圏域の強み(S) ②充実した都市機能 ④陸・海・空の交通の要衝 ⑦住みやすさ	2 圏域の弱み(W) ①20～29 歳人口における道外流出増 ②圏域における介護需要の増 ⑤路線バスの利用低迷 ⑥移動手段を持たない高齢者の増加 ⑦生活圏への鳥獣の出現
外部環境	3 機会(O) ③子ども・子育て支援の促進 ⑦ワーク・ライフスタイルの変化 ⑪人生100年時代の到来～健康寿命の延伸 ⑫豊かな自然環境 ⑭DXの推進	4 脅威(T) ①生産年齢人口減による全般的な働き手不足、税金収入減 ③いびつな人口バランスによる社会保障費の増加 ④人口減少が進み、経済・都市機能との規模が合わなくなる ⑤ヒグマ生息状況の変化

SWOT	必要となる取組
S ② 充実した都市機能 O ③子ども・子育て支援の促進、⑫豊かな自然環境	・魅力的な子育て環境についての情報発信
W ②圏域における介護需要の増 O ⑪人生100年時代の到来～健康寿命の延伸	・連携した学び直し・就労の機会の提供
W ②圏域における介護需要の増 T ③いびつな人口バランスによる社会保障費の増加	・圏域の健康寿命延伸
W ⑤路線バスの利用低迷、⑥移動手段を持たない高齢者の増加 T ①生産年齢人口減による全般的な働き手不足、税金収入減 ④人口減少が進み、経済・都市機能との規模が合わなくなる	・地域公共交通の維持
W ⑦生活圏への鳥獣の出現 T ⑤ヒグマ生息状況の変化	・鳥獣対策の広域化

圏域は豊かな自然環境の中で子育てをしながら充実した都市機能も活用できるという強みがあることから、国の制度による子ども・子育て支援の促進の機会を捉え、圏域内の子育て環境の充実をはかり広く圏域外に情報発

第2期さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン【圏域の中長期的な将来像】

信することで、子育て世帯の流入促進が期待できる。

一方、少子高齢化が進む中で人生 100 年時代を迎えるにあたり、生涯学習や多様な就労の機会の提供と合わせて健康寿命の延伸をはかることで、社会保障費や医療費の増加を抑制することができる。例えば、高齢者をはじめとする意欲のある方が活躍できる環境を整備する取組などが効果的である。

地域公共交通については、圏域の課題として路線バスの利用が低迷している一方、移動手段を持たない高齢者が増加していることが指摘されている。運転手等の人手不足が生じている状況においていかにして地域公共交通を維持していくかが課題である。

また、都心部と豊かな自然が近接しているという特徴を持つ圏域においては、ヒグマの個体数が増加し警戒心の低い個体が増えている状況は、市街地へのヒグマの出没の増加につながることから、広域での鳥獣対策に取り組むなど、安全・安心な暮らしを確保し、住みやすい圏域を目指すことが重要である。

例えば、圏域全体でのヒグマの個体調査の実施や、小中学生向けの啓発活動の実施が効果的である。

⇒ **重点施策案5 暮らしの質を高め、住みやすい圏域をつくる**

SWOT	必要となる取組
S ②充実した都市機能、④陸・海・空の交通の要衝、⑦住みやすさ O ⑦ワーク・ライフスタイルの変化（リモート勤務・ワーケーションの促進） ⑫豊かな自然環境	・圏域を一つのエリアとみなした移住促進
W ①20～29 歳人口における道外流出増 O ⑭DXの推進	・連携したIT人材の育成・確保
W ①20～29 歳人口における道外流出増 T ①生産年齢人口減による全般的な働き手不足、税金収入減	・地元定着の促進

圏域は、首都圏に比べて家賃負担が少なく通勤時間も短いことから「住みやすい」という評価を得ており、都心部に近接した丘珠空港や発着数の多い新千歳空港を擁していることから、首都圏等へのアクセスが容易であるという強みもある。圏域の転出入の状況からは、20 歳代は道外への転出超過であるが、近年は、30 歳から 44 歳の道外道内移動がいずれも転入超過となっている。

例えば、圏域は、「充実した都市機能」と「豊かな自然環境」を合わせ持つことから、様々なライフ・ワークスタイルに対応することが可能であるという強みを効果的に発信することで、さまざまな世代の圏域への人口流入が期待できる。

一方、圏域の 20～29 歳人口の道外への社会増減数も依然として改善しておらず、全国的にも少子高齢化に伴う人手不足が問題となっていることから、DXの推進に必要な若年層へのIT教育の促進や、地元企業等への就職を促進する取組を進め、圏域の将来を担う若年層における人口の流出を食い止める必要がある。

⇒ **重点施策案6 圏域の将来を担う人材を育成・確保する**

Ⅲ 脱炭素の促進

脱炭素の促進については全分野に係る基本的方向として整理